



## 2月号

吹田市立豊津西中学校

令和8(2026)年2月10日



### 『時間にゆとりを』



校長 森田 直樹

2月に入りました。今年は2月3日が節分でした。節分(せつぶん、せちぶん)とは、雑節の一つで、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日を差すとのことです。しかしいつしか、一年の始まりであり、大切にされていた「立春」の前日のみを「節分」と呼ぶようになったとのことです。節分は「一年間健康に過ごせるように」という願いを込めて「悪いもの」を追い出す行事とされており、「鬼は外、福は内」でお馴染みの、老若男女問わずみんなが参加できる年中行事です。豆まきをしたり、恵方巻きを食べたり、いわしを飾ったりと古くから伝わる風習が数多くあります。幼稚園や小学校でも節分給食として豆が出るほど、日本人にとって馴染み深い節分です。節分の発祥は中国。平安時代ごろに中国から伝わってきた文化が、日本古来の考え方と合わさって生まれたと考えられているそうです。

さて、標題の『時間にゆとりを』ですが、3学期に入り朝の登校時間が全体的に遅くなってきている感覚があります。25分の予鈴が鳴ってから急いで登校してくる生徒が多くなってきました。寒い時期になり、朝布団から出たくない気持ちもわかりますし、3年生は遅くまで勉強に頑張っており、ギリギリまで布団に入っていたい人も多いと思います。私も若い時は、時間ギリギリで動いていましたが、ある時たまたま早く出勤できました。いつもより早く職場に着けたことで、ゆっくりその日の準備等が出来、「早く来ることで、学校の様子がよくわかり、一日の予定が落ち着いて確認でき準備もできる」と感じました。忙しく過ごしてきたそれまでと、全く違う感覚になり、それ以降、早めの出勤が習慣となるよう心がけました。今では逆に、時間ギリギリになると、落ちつけなくなりました。そして、少しでもゆっくりできる時間を作ることを心がけています。先日参加した研修でも、「『ボーッとする時間』が脳にとって大切で、新しいアイデアや創造性を生むことに繋がる。」との話を聞きました。特に3年生の保護者の皆様には、来週の私立入試に向け、「時間に余裕があれば、勉強したほうが良いのでは。」と言われそうですが、逆に、少しゆとりある時間設計をして、「何もしない時間」を作ってみるのもいいかもしれません。それまで解けなかった問題等のヒントが思いつくかもしれませんし、リフレッシュできる時間にもなるのではないでしょうか。1、2年生の保護者の皆さんも、お子様の一日の時間設計で、「ゲームやスマホでの動画視聴に、長い時間を使っているな。」と感じている方は、是非「ボーッとする時間」を作って、「脳を休ませるための時間」を作るよう、お子様にお話ししていただければ幸いです。

最後に、ここ数週間で吹田市小・中学校でインフルエンザによる学級閉鎖が増加傾向にあるとのことです。本校区でも流行っていると聞いています。基本的な感染症予防策である、手洗い・うがい・換気をして、特に3年生はこれから受験シーズン本番ですので、基本的な生活習慣を守り、体調管理を徹底し、この受験シーズンを乗り切ってください。

# 1月行事報告

## □ 3学期始業式



3学期が始まりました。校長からは、学年のまとめの時期、3年生にとっては中学校生活最後の日々になるので、充実した日々を過ごして欲しいと話がありました。その後、各学年の学級委員から月目標が発表され、始業式を終えました。

## □ 中学生の主張大会



千里市民センターにて、「中学生の主張大会」が行われました。本校から生徒会長が「私が生物多様性について考えたこと」と題して、能勢ささゆり学園訪問や地域での活動など、生徒会の取組みを通して、感じたことや、考えたことを発表してくれました。

## □ 吹田市教育美術展（メイシアター展示室）



1年生は「なぜか気になる情景」「マイロゴマーク」  
2年生は「美術新聞」「想像上の生物を作ろう」  
3年生はガラス工芸「私の大切なもの」「空想の世界 de アートガラス」「ガラス工芸『私の大切なもの』」で、どの作品からも豊かな想像力を感しました。

## □ 1,2年生チャレンジテスト



1年生は、国語・数学・英語の3教科、2年生は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科で実施されました。1,2年生とも、これまでの「学び」の整理は、出来ていましたか？不足していると感じたところは、早めに復習しておきましょう。

## □ 3年生面接練習



2月は、私立高校の入試と、公立高校の特別選抜があります。その時実施される面接試験を想定し、グループでの面接練習を行いました。生徒たちは、緊張しながらも精一杯答えていました。練習通りに頑張ってきてください。ダイジョウブ！